

令和5年度 学校評価報告書 三郷市立新和小学校

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.40	3.89	目指す学校像を「優しさや夢を育む新和小学校、楽しい学校、温かい学校、元気な学校、美しい学校」として、優しさや気遣いのできる人、将来の夢に向かって前向きに取り組める人を育むため、共通理解・共通行動のもと、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.35		昨年度の教育活動の振り返り、申し送り事項をもとに計画を立案し、実行することができた。また、学年主任は学年経営に集中して力を注ぎ、そのほかの教職員が各教科・領域等主任を担い、教科・領域等の経営を行った。「新和のトップ10」と題し、「育てたい10の力」と目指す児童像、教師像を示し、毎月の全校朝会時間を利用して、各学級で振り返りを行い、達成度や課題を確認した。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.33		校内研修として算数科の研修に取り組んでいる。サブテーマにICT活用を掲げ、重点化している。また、図書ボランティアとともに推進する読書活動、算数、学級活動、英語及び道徳科における「新和スタイル」の確立、高学年の美しい歌声は本校の特色である。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.19	3.89	各行事や取組に際しては必ず目標やねらいを明確にして、達成感やより高い目標の設定につなげた。また、年度当初、学期当初の学級活動等で児童に目標をもたせ、日々の学習活動に目標意識をもって取り組ませている。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.44		教職員の不祥事が後を絶たない状況を踏まえ、「自分自身が不祥事を起こさない、本校から不祥事を起こさせない」という強い決意のもと、日々の教育活動にあたっている。打合せや職員会議の後に、倫理確立委員会を開催し、全員が輪番でリーダーを担い、テーマに従って倫理確立委員会を進め、不祥事を自分事としてとらえている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.37		埼玉県算数教科学教育研究会委嘱、三郷市教育委員会学力向上推進研究委嘱を受け、2月2日に中間発表を行った。3回の校内授業研究会により6学級の研究授業を積み重ね、教職員一丸となって指導力の向上に努めた。
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.30		各担任が授業の中に、課題、まとめ、振り返りをとり入れたり、グループ学習を意図的に行ったりして主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行った。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.44		児童の実態を把握し、個に応じたきめ細かい手立てを講じて、基礎的・基本的な学力を身につけさせた。また、漢字検定、チャレンジ検定などに全校を挙げて取り組み、学力向上を図った。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.53		「授業の心得」の振り返りをもとに、達成度や課題を把握し、次の指導に生かしている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.40	3.78	教職員は、掲示物を工夫したり、学習の場の設定を変えたりしながら、「わかる授業」興味を引く「授業」の実践に努めている。教職員と児童の信頼関係に基づいた学級経営のもと、落ち着いた授業を展開している。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.77	3.78	読書カード、家読、読書月間・ワークなどの様々な取組により、読書活動を推進している。読み聞かせボランティアによる全校一斉の読み聞かせは、レベルの高いものである。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.74	3.89	学校司書、図書ボランティア、環境ボランティアなどの活用により、児童が主体的に読書に取り組めるような指導、環境づくりが行われている。
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.47		栄養教諭による児童の発達段階に応じた食育が計画的に実施されている。また、残さず食べよう「ベロリン週間」、食器をきれいに片づける「キラリン週間」などの取組も効果的である。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.44	3.78	校庭や体育館を計画的に使い、朝のさわやかタイム、ロング昼休みを活用して、各学年・学級が体力づくりに取り組んでいる。また、校内持久走大会、校内縄跳び大会などを計画し、自己の記録更新に向けて取り組んでいる。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.44		学校公開の際に、全校を挙げて道徳授業を公開している。道徳推進教師を中心に、教員研修を実施し、指導力、授業力の向上を図っている。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.37		年次研修、若手教員研修を通して、道徳の授業研究に取り組むほか、毎週の道徳授業を確実に実行し、道徳性を育んでいる。
指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.30		常日頃から校内外でのあいさつや礼儀の重要性を指導するとともに、教職員自ら実践している。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.21	3.78	日々の道徳授業はもとより、教育活動全体を通して、あいさつ指導を実践している。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.33		教職員自身が言葉遣いに留意しながら、丁寧で美しい言葉を使うよう心がけ、指導している。
	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.35		学級の問題を担任一人で抱え込まず、風通しのよい職場づくり、報告・連絡・相談の徹底により、組織的に対応している。
	21	学校は、保護者（必要に応じ関係機関）と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.42		子ども第一に考え、些細な事柄でも家庭と連絡を密にとりながら、同一歩調で指導にあたっている。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.47	3.22	毎月の「なかよしアンケート」、「相談ポスト」により、いじめの早期発見・早期対応に努めている。いじめの認知度に対する教職員の意識改革を図っている。
安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.35		計画的な安全教育、安全点検、掲示物等によりマニュアルを周知している。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.60	3.78	安全主任を中心に毎月安全点検を実施し、修繕を進め安全に留意している。
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.49	3.89	掲示物、清掃主任による放送などにより「無言清掃」を実践している。各教科等主任、研修主任を中心に、掲示物の充実を図っている。
	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.23		「ふれあいデー」「定時退勤推奨ワーク」などの取組により働き方改革を進めている。教職員の意識を高めながら、計画的でメリハリのある働き方を助めている。
家庭・地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.67	3.78	広報担当者を中心に、各学年でのホームページの更新が進められている。学校だより、保健だより、学級の週予定表などを通じて、教育活動の様子や諸連絡を各家庭に届けている。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.28	3.67	地域の方や図書・学習ボランティア、おやじの会などと連携し、教育活動の充実を図っている。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.42	3.67	コロナ感染症が5類に移行し、PTA活動や地域活動がコロナ禍を経ての活動になっている。家庭・地域と連携して、教育活動の充実を図っている。